

1 部門目標

- ・救急科専門医が、救急外来（ER）ですべての救急患者の初期診療に対応する。
- ・内科系・外科系を問わずあらゆる救急疾患に対し適切な初期診療を提供し、他科と協力して治療にあたる。
- ・断らない救急を目標とし、千葉市の救急医療体制に貢献する。
- ・救急外来診療を通じて初期研修医教育の充実を図る。

2 業務体制・スタッフ

- ・救急科専従医：織田成人、本間洋輔
- ・救急科スタッフ（兼任）：川名秀俊、加藤真優
- ・非常勤医：千葉大学医学部附属病院救急科医師
東京ベイ浦安市川医療センター救急科医師
- ・初期臨床研修医：1～3名

3 業務実績

救急科受け入れ患者数 1885名

帰宅 1249名

入院 510名

他院へ搬送 126名

救急搬送件数

平成31年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小児 1464	1716	1127	1586
成人 1784	3046	2680	2791
合計 3248	4762	3807	4377

MET 対応件数

令和3年度 47件

4 1年間の総括

今年度は新たに1名専従として救急科専門医・指導医が加わったことで、ER業務の安定化を図ることができた。コロナ禍であり病院全体の機能として受け入れ制限をせざるを得ない部分もあったものの、それでもERでの救急受け入れは維持することができた。ま

た2名体制となったことでICU入室患者の管理もできるようになり、ICUでの人工呼吸器管理が必要な重症新型コロナウイルス感染症の患者も含め重症患者の集中治療管理を実施できるようになった。東京ベイ浦安市川医療センター救急科および千葉大学医学部附属病院救急科から、救急専従医がそれぞれ週1回手伝いに来るようになり、診療体制も指導体制も安定したことで、海浜病院以外にも千葉大学病院や青葉病院の研修医が当院での救急外来研修を選択してくれるようになり、研修医と指導医でER診療を行う体制が確立できた。

院内においては、救急科医師、看護師、臨床工学技士からなるMET (medical emergency team) を設立し、院内急変時に速やかに現場に向かう体制を確立することができた。

5 今後の目標

- ・現在は平日の日勤帯（朝8時～夕方5時）のみの対応であるが、今後は救急科専従医を増やして、ライフワークバランスを維持した上で、準夜帯や土日・休日へと徐々に稼働時間を拡大していく。
- ・現在、専従医のいないICUを、集中治療に精通した救急科専門医が管理運営できるようにする。
- ・新たに病院救命士を雇用することでタスクシフトを進め、さらに市民にとって頼られる救急外来を構築していく